

特別展 雪舟と室町文化

【第Ⅰ部 将軍家の襖絵】

【第Ⅱ部 雪舟と狩野派】

会期 2022年 9月16日(金)～10月16日(日)  
 開館時間：9:00～17:00 (入館は16:00まで)  
 休館日：9月26日(月)  
 ※10月3日は「ファーストマンデー」のため開館

日本美術史を代表する大画家・雪舟(1420-1502?)は、室町時代(1338-1573)に山口の地で活躍しました。当時雪舟を庇護した大内氏の山口の居館は、「花の御所」に代表される京都の足利将軍邸を模して築かれていました。応仁の乱を戦った山口の守護大名・大内政弘(1446-95)の居館もまた足利将軍邸に倣って造られましたが、その襖は、雪舟が描いた山水図によって飾られました。そしてその雪舟の山水図は、将軍邸の襖に、将軍家のお抱え絵師・周文が、当世人気が高かった「唐絵(からえ)」と呼ばれる中国絵画をお手本に描いた山水図に倣って制作されたものでした。



伝天章周文(山水図屏風(右隻))15世紀 室町時代 公益財団法人ウッドワン美術館

「唐絵」を尊重し、制作の規範とするこのような美術文化は、室町時代の足利将軍家から、江戸時代の徳川将軍家へと継承され、武家文化の大きな柱の一つになりました。



雪舟等楊(山水図)15世紀 室町時代 緑原記念館

本展では、周文…雪舟…江戸狩野派という唐絵画家(漢画師)の系譜を、【第Ⅰ部 将軍家の襖絵】/【第Ⅱ部 雪舟と狩野派】という2部構成の展示によってご覧いただけます。

2022 - 2023 schedule 山口県立美術館 令和4年度展覧会スケジュール

月	コレクション展示	特別展示
4月	4/17(日)まで、 令和3年度 コレクション展	4/17(日)まで、 ミネアポリス美術館 日本絵画の名品展 全館休館【4/18(月)～4/26(火)】
5月	4/27(水)～5/22(日) 日本画のリアルⅠ —花鳥— 4/27(水)～6/19(日) 中本達也 真の人間性を求めて 4/27(水)～6/19(日) 写真のリアル 戦後写真の一断面	4/27(水)～6/19(日) 特別展 野田弘志 真理のリアリズム ファーストマンデー 5/2、6/6
6月	5/24(火)～6/19(日) 日本画のリアルⅡ —動物—	全館休館【6/20(月)～7/7(木)】
7月	7/8(金)～9/4(日) アニメーション 江戸時代の動的画巻 —佐々木繪往「塞外射獵圖」—	7/8(金)～9/4(日) 特別展 庵野秀明展 ファーストマンデー 8/1
8月	9/16(金)～10/16(日) 雪舟流	9/16(金)～10/16(日) 特別展 香月泰男の造形の軌跡 —1930～1950年代—
9月	9/16(金)～12/11(日) パノラマ 山水長巻 デジタル映像による 国宝・四季山水図	9/16(金)～10/16(日) 雪舟と室町文化 【第Ⅰ部 将軍家の襖絵】/【第Ⅱ部 雪舟と狩野派】 ファーストマンデー 10/3
10月	10/25(火)～12/11(日) 森寛齋と森派の絵画	10/25(火)～12/11(日) 宮崎進 展
11月	11/24(木)～12/11(日) 第75回山口県美術展覧会	施設改修工事のため臨時休館【12/12(月)～3/31(金)】
12月		

新型コロナウイルス感染症対策のため、混雑時には入場をお待ちいただく場合がございます。また、状況によっては展覧会スケジュールと予定等を変更いたします。ご来館前に当館ホームページをご確認ください。

Information

- 休館日 月曜日 ※祝日・休日の場合は開館 ※ただし、ファーストマンデー 特別展開催中の(第1月曜日)は開館。  
 年末年始 12/28(水)～2023年1月3日(火)  
 臨時休館 4月18日(月)～26日(火)、6月20日(月)～7月7日(木)、9月5日(月)～15日(木)、  
 10月17日(月)～24日(月)、11月4日(金)～14日(月)、12月12日(月)～2023年3月31日(金)
- 開館時間 9:00～17:00(入場は16:00まで)
- 料金 コレクション展：一般300円 学生200円  
 ※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。  
 ※障がい者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。  
 ※令和4年(2022年)度メンバーズクラブ会員およびキャンパスメンバーズ加盟校の学生と教職員の方、法人サポーターズ会員の方は無料。  
 ※団体の受け入れを中止しています。  
 特別展ほか：別途定めた料金

Facebook Twitter

山口県立美術館の公式アカウントはこちら



山口県立美術館 Yamaguchi Prefectural Art Museum  
 〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1  
 TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790  
 https://www.yma-web.jp/



山口県立美術館ニュース「天花」第137号 令和4年3月発行

編集 指定管理者サントロ・パブリシティ・インターナショナル 発行 山口県立美術館 印刷 麗報社写真印刷株式会社

山口県立美術館ニュース「天花」

Collection

コレクション展

写真のリアル  
2022 4/27 水 - 6/19 日

表紙作品解説

金井精一 《浅草にて ロック座裏》  
 昭和26年(1951) ゼラチン・シルヴァー・プリント  
 山口県立美術館蔵

「裸体舞踊一時禁止の噂ありしがその後ますます盛にて常盤座ロック座大都座の三座競ひてこれを演じつつあり。今日見たる大都座にては日本服きたる女踊りながら赤きしごきを解き長襦袢をぬぐところまで見せる。午前十時開場と共に各座満員の由。」(昭和二十三年 六月一日 荷風散人年七十)

浅草と、浅草の「裸体舞踊」をこよなく愛した永井荷風の日記の一節である。足繁く通ううち、一番のお気に入りとなったのがロック座。楽屋を頻りに訪れ、「踊子ら」と連れだってカフェや洋食屋、蕎麦屋等に入り出した。皆で「秘戯映画」を見たこともあったらしい。1952年(昭和27)に文化勲章を授与された折には、すぐさまロック座の「女優踊子二、三十人」を招いて祝宴まで催した。荷風も、荷風に懐いた「踊子」達も、一緒にいると、我を忘れて楽しかったのである。

さて、今回紹介する作品は、そのロック座楽屋裏の路上で、1951年(昭和26)に撮られた写真である。だとすれば、この二人の女もまた荷風と連れだってワイワイと楽しい時間を過ごした明るくて可愛い「踊子」に違いない。しかし、その表情は荷風が傍にいた時とは全くの別ものだ。どちらも本当の彼女達には違いないのだが、ここには、この時代に一人、生き抜いていかなばならなかった女たちのリアルが浮かび上がっている。

男の腕をそっと撫でるかのように置かれた女の左手は、優しく、哀しくて、切ない。そして、「騙されてんのよ、あんた…」という言葉を含み込み、知らぬふりして通り過ぎていくしか術がないもう一人の女もまた。

(副館長兼学芸課長 河野通孝)



金井精一 《浅草にて ロック座裏》 昭和26年(1951)

館内インフォメーション

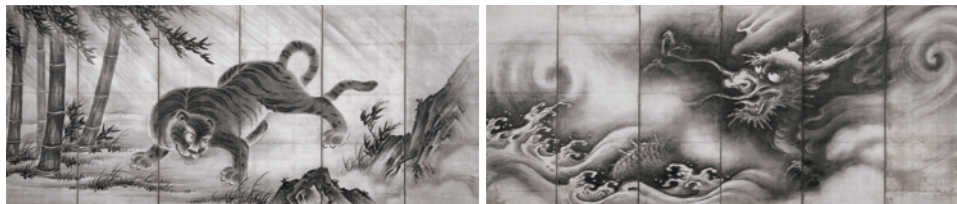
令和4年度 県立美術館メンバーズクラブ 3/1(火)より募集受付開始!!

山口県立美術館と山口県立萩美術館・浦上記念館では、両館で開催する展覧会等をおして美術に広く親しんでいただき、地域文化の向上に寄与することを目的として、2館共通のメンバーズクラブ会員の募集受付をスタートいたします。9年目となる本年も、皆さまのご入会をお待ちしております。

【有効期限】  
 令和4年3月1日(火)～令和5年3月31日(金)

\*会員特典・入会方法などの詳細については、当館HPまたは会員募集チラシをご覧ください。





山田道安《龍虎図屏風》六曲一双 16世紀 室町時代 ミネアポリス美術館蔵  
The Centennial Fund: Gift of the James Ford Bell Foundation, Aimee Mott Butler Charitable Trust, the Centennial Gala Committee and Carl A. Weyerhauser Charitable Trusts, and gift of funds from Mr. and Mrs. Charles H. Bell

特別展

# ミネアポリス美術館 日本絵画の名品展

会期 **2022年3月1日** 月 - **4月17日** 日  
開館時間：9:00～17:00 (入館は16:00まで)  
休館日：3月14日、28日、4月11日 (いずれも月曜日)  
※4月4日は **ファーストマンデー** のため開館

観覧料 一般1,500 (1,300) 円、シニア・学生1,300 (1,100) 円  
◎コレクション展セット券(当日券のみ) 一般 1,600円 / 学生 1,400円  
※シニアは70歳以上の方、( )内は前売りおよびオンラインチケットの料金。  
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。  
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。  
※前売り券は、ローソンチケット(Lコード63010)またはセブンチケットでお求めください。オンラインチケットの購入については当館ウェブサイトをご覧ください。



東洲斎写楽(市川蔵蔵の竹村定之進) 寛政6年(1794)江戸時代 ミネアポリス美術館蔵  
Bequest of Richard P. Gale

主催 山口県立美術館、ミネアポリス美術館、読売新聞社、KRY山口放送  
特別協賛 株式会社丸久、サントリーフーズ株式会社、ハウス食品株式会社、雪印メグミルク株式会社

アメリカ中西部ミネソタ州最大の都市ミネアポリス市に所在するミネアポリス美術館(通称Mia<ミア>)は、世界各地の9万点を超える美術作品を所蔵するアッパー・ミッドウエスト(中西部北部)最大級の総合美術館です。Miaの所蔵品の内、日本美術のコレクションは9,500点近くに及び、質・量ともに国際的に高い評価を得ています。

本展は、Miaのコレクションによって、狩野派・琳派・奇想派・浮世絵など江戸絵画を中心に、中世から近代にいたる日本絵画の変遷を選びすぐりの名品によって迎える構成となっています。狩野山楽、狩野探幽、伊藤若冲、曾我蕭白、東洲斎写楽、葛飾北斎など、日本美術を代表する画家の作品が大挙して里帰りする、たいへん貴重な機会となります。

伝来や由緒を重視する日本のコレクターに比べ、アメリカ人コレクターは、先入観にとらわれず自分の目で見て面白いかどうかを基準に作品を選ぶ傾向があります。この展覧会の多彩な出品作に、そうしたアメリカ人の日本絵画コレクターの「眼」を感じ取って頂ければ幸いです。



三島上龍《舞妓覗き見図》対幅 19世紀 江戸時代 ミネアポリス美術館蔵  
Gift of the Clark Center for Japanese Art & Culture

特別展

# 野田弘志 真理のリアリズム

## Noda Hiroshi: Absolute Realism



《聖なるもの THE-IV》2013年、油彩・カンヴァス、ホキ美術館



《THE-9》2003-2004年、油彩・カンヴァス、姫路市立美術館

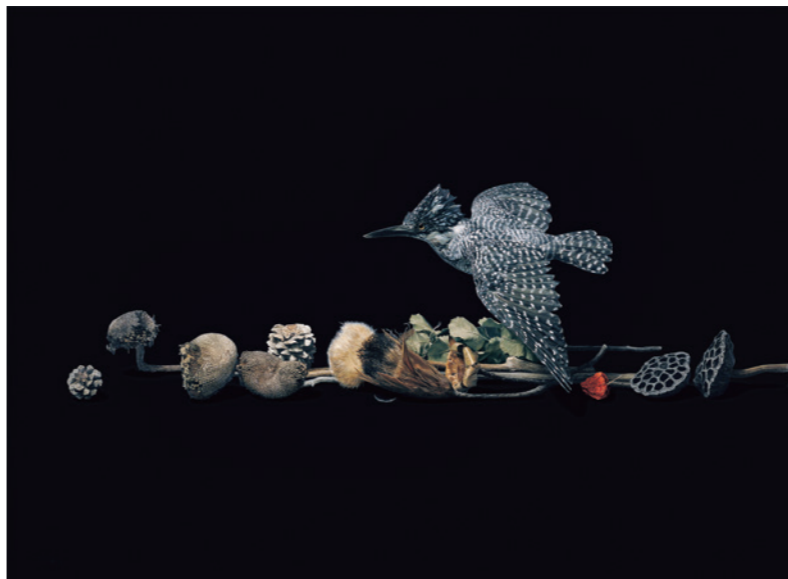
会期 **2022年4月27日** 水 - **6月19日** 日  
開館時間：9:00～17:00 (入館は16:00まで)  
休館日：月曜休館、ただし **ファーストマンデー** (5月2日、6月6日) は開館

観覧料 一般：1,400 (1,200) 円  
シニア・学生：1,200 (1,000) 円  
※シニアは70歳以上の方、( )内は前売りおよびオンラインチケットの料金。  
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。  
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。  
※前売券は、ローソンチケット(Lコード63067)、セブンチケットでお求めください。オンラインチケットの購入については当館ウェブサイトをご覧ください。



《ホッチャレ》1983年、鉛筆・紙、豊橋市美術館蔵

主催 山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送 特別協賛 エフエム山口



《やませみ》 1971年、油彩・板、豊橋市美術館蔵

野田弘志(1936-)は、日本のリアリズム絵画を代表する画家の一人です。東京藝術大学を卒業後、イラストレーターとして多忙な日々を送る中で、絵画制作への想いが高まり、30代半ばより画業に専念するようになりました。広島市立大学芸術学部で後進の指導にあたったのち、現在は北海道のアトリエで日夜制作に没頭する日々を送り、傘寿を超えてなお、リアリズムの画壇をけん引し続けています。

本展は、画家・野田弘志の最初期から近作まで、その画業の全容を回顧するものです。自身のスタイルを模索していた学生時代の作品、広告会社時代のイラストやデザイン。画壇デビューを果たした頃の細密な静物画群(『黒の時代/金の時代』)から、その名が全国的に知られる契機となった新聞連載小説『湿原』(加賀乙彦著)の挿絵原画。骨、あるいは生ける人間を描き、死生観を示そうとしたシリーズ『TOKIJIKU(非時)』『THE』、そして近年手掛けている等身大肖像のシリーズ『聖なるもの』『崇高なるもの』まで。人物・静物・風景、いずれのモチーフを前にしても、一貫してひたすらに見つめ、描くことで「存る」ということを突き詰めようと、野田弘志が歩んできたリアリズムの道をたどります。



《摩周湖・霧》1996年、油彩・カンヴァス、公益財団法人ウッドワン美術館

特別展

# 庵野秀明 展

## HIDEAKI ANNO EXHIBITION



【ふしぎの海のナディア】 1990年放送 ©NHK・NEP

総監督を務めた最新作『シン・エヴァンゲリオン劇場版』(2021)が興行収入100億円を超える大ヒットとなった庵野秀明(1960-)。本展では、庵野がアマチュア時代、アニメーター時代に参加していた作品から、監督、プロデューサーとして活躍する最新の仕事までを網羅し、その創作活動の秘密に迫ります。原点である「アニメ」 「特撮」作品の貴重な原画やミニチュア等のほか、直筆の膨大なメモやイラスト、独自の映像作りには欠かせない脚本、設定、イメージスケッチ、画コンテ、レイアウト、原画からミニチュアセットまで、多彩な制作資料等を余すことなく展示する世界初の展覧会です。



東京展の様子 提供 庵野秀明展実行委員会



【エヴァンゲリオン新劇場版：破】 2009年公開 ©カラー

会期 **2022年7月8日** 金 - **9月4日** 日  
開館時間：9:00～17:00 (入館は16:00まで)  
休館日：月曜休館、ただし7月18日 [月・祝]、8月1日 **ファーストマンデー** は開館

主催 山口県立美術館、宇部市、山口市、KRY山口放送、朝日新聞社  
協賛 DNP大日本印刷 企画 庵野秀明展実行委員会  
企画協力 カラー、グラウンドワークス、アニメ特撮アーカイブ機構  
特別協賛 宇部興産株式会社、西京銀行

観覧料 一般1,700 (1,500) 円  
シニア・学生1,500 (1,300) 円  
※シニアは70歳以上の方、( )内は前売りおよびオンラインチケットの料金。  
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。  
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

